

雲南防火委員会30周年記念式典

雲南防火委員会（会長 障子弘敏雲南消防本部消防長）は、平成27年に創立30周年を迎え、11月15日（日）「雲南防火委員会30周年記念式典」を開催し、角森豪島根県防災部消防総務課長をはじめ来賓・関係者など154名の皆様に出席をいただきました。

式典では、消防職員による腹話術、かじ山荘デイサービスセンター中村学施設長の「笑う門にはいい介護」と題した記念講演、掛合太鼓保存会による太鼓の演舞など盛大に行いました。



雲南防火委員会会長 式辞



八川幼稚園幼年消防クラブ



宝くじ
あなただけの宝を。宝くじ 南に元気を。

また、一般財団法人 自治総合センターが宝くじの助成金で実施するコミュニティ助成事業により、八川幼稚園幼年消防クラブ（会長 足立維久子園長、クラブ員50名）へ鼓笛隊セットが贈呈され演奏披露が行われました。

雲南防火委員会は、30周年を契機として、今まで以上に防火クラブ・自主防災組織及び地域との連携を深め、災害に強いまちづくりを推進し、防災体制の確立に尽力してまいります。

住宅用火災警報器の維持管理について

定期的な作動確認



点検ボタンを押すか点検ひもをひっぱり、定期的^{※1}に作動確認をしましょう。

作動確認をしても住警器に反応がなければ、本体の故障か電池切れです^{※2}。住警器本体又は電池を交換しましょう。

定期的なお手入れ



ほこり、小さな虫などは取り除き、年に一度中性洗剤などに浸し、固く絞った布で軽く拭き取りましょう。

ベンジン・シンナーなどの有機溶剤は、絶対に使用しないでください。故障の原因になるため、水洗いはしないでください。

※1 少なくとも年に2回は作動確認をしましょう。

※2 故障か電池切れか分からないときは、取扱説明書を確認するか、メーカーにお問合せください。なお、電池切れと判明した住警器が設置から10年以上経過している場合は、内部の電子機器が劣化しているおそれがあるため、本体の交換をおすすめします。